

2020－2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱

昨今、強度行動障害支援や発達障害地域支援等、発達障害児者への支援の場におけるスーパーバイザーの存在の重要性は高まってきています。ただ、発達障害支援もスーパービジョンも、知識の獲得だけで実践力が向上することはなく、研修の方法さえ確立されていない状況にあります

本協会には発達障害支援に長く携わり、支援とスーパービジョンの実践を積み重ねてきた施設が多く加盟しています。本研修はそうした実践から得られたノウハウを元に構成されており、発達障害支援とスーパービジョンを学ぶ上で、他に類のない研修となっています。

数字の上では徐々に新規感染者は少なくなっていますが、今後も新型コロナウイルス拡大防止対策が必要なため、一ヶ所に集合しての講義・演習、施設での実務研修は見送らざるを得ません。そこで、2020-2021年度の2年間で1年分の研修カリキュラムを実施することとし、今年度は実施可能なプログラムのみ実施します。

このような状況でも発達障害児者は適切な支援を待ち望んでいることに変わりはなく、研修のニーズも変わらずあると思います。計画的な研修受講のために、研修の全体像を含めて要綱をお知らせします。

【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その一因として、日本の福祉や教育の現場では適切なスーパービジョンが不足していることが挙げられています。本研修では、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員及び発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の各分野の実務に携り、一定程度の実務経験を有する方を対象に、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修、事例検討会等を通して、福祉施設はもとより関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成します。

【主催】

全日本自閉症支援者協会

【後援団体】

厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

【事務局】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修特定事務局(社会福祉法人嬉泉内)

【研修概要】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修は、3コース、1認定審査で構成されています。

※2020－2021年度は、変則的な実施になります

(1) ベーシックコース

対 象

○ 要件 (いずれか)

- ・知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等での直接支援経験が3～5年程度の方
- ・発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方

○ 受講動機の適性

- ・発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・相談支援等の実務経験者で、発達障害児者に直接接する機会を求めている方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等に難しさを感じている方

形 式

座学+実務研修(全自者協加盟施設での実習) ※いずれもレポートあり

※実務研修は2020年度には実施しません。2021年度に実施する予定です

※座学は2020年度内に実施できるよう準備しています

内 容

○ 座学

自閉スペクトラム症を中心にした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※ 2020年度に座学を実施する場合、要項は9月以降に全自者協HPに掲載します。

参考 (2019年度実施内容)

研修内容			講師
『発達障害支援の基礎①』	～医療とアセスメント～	110分	大正大学 内山 登紀夫 氏
『発達障害支援の基礎②』	～受容的交流～	60分	社会福祉法人嬉泉 沼倉 実 氏
『発達障害支援の基礎③』	～応用行動分析～	90分	鳥取大学 井上 雅彦 氏
13:30～15:00			
『発達障害支援の基礎④』	～TEACCH～	90分	川崎医療福祉大学 諏訪 利明 氏
『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』	家族から	60分	日本自閉症協会 今井 忠 氏
『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』	当事者から	60分	NPO法人DDAC 広野 ゆい 氏
シンポジウム	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義』		180分
シンポジスト	行政から	厚生労働省	加藤 永歳 氏
	施設支援現場から	全日本自閉症支援者協会	勝部 慎一郎 氏
	地域支援現場から	全日本自閉症支援者協会	五十嵐 猛 氏
司会	スーパーバイザー養成研修特定事務局	辻田 剛己	

・日 時

未定（10月以降） 決まり次第、全自者協HPでお知らせします

○ 実務研修（5日／1回以上複数回受講可） ※2021年度以降実施予定

臨床実習を主体としたカリキュラムの中で自閉スペクトラム症を中心にした発達障害児者の特性や支援の困難さ
接し方・関わり方の基本についての実践研修

※既にベーシックコースを修了した方で実務研修のみ受講されたい方は事務局にお問い合わせください

・会 場

初回の実務研修は、原則、受講者の在勤地の属するブロック(北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中
国・四国・九州)内の全自者協加盟施設

実務研修カリキュラム(例)

月 曜 日			13:00 受 付	～	14:00 ～17:00	○オリエンテーション 施設概要説明・見学 実務研修説明 研修計画確認
火 曜 日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 活動支援	12:00～ 食事支援	13:00 休 憩	14:00～ ○臨床実習 作業支援	17:00～ 振り返り
水	9:00～	9:30～	12:00～	13:00	14:00～	17:00～

曜日	○オリエンテーション	○臨床実習 作業支援	食事支援	休憩	○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	振り返り
木曜日	7:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援	11:00～ 休憩		13:00～ ○臨床実習 余暇支援	15:00～ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等
金曜日	9:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援	12:00～ 生活支援		13:30 まとめ 考課 15:00 終了		

(2) アドバンスコース **※2020年度は新規受講の募集はありません**

対象

- 要件：SV研修ベーシックコース修了

※ 2018年度までのSV研修ベーシックコース受講者については、集合研修受講・レポート提出、実務研修1回を終えていれば修了と見なします。

○ 受講動機の適性

- ・発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、より広く、より深く、より高く支援力を磨きたい方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、実践を重ね、後進の指導育成や地域での普及啓発・連携・指導育成に役立てたい方

研修形式

演習・座学＋事例検討(全自者協ブロック研修会等での事例検討) ※いずれもレポートあり

内容

○ 集合研修 (2日／講義・演習2) **※2020年度は実施しません**

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

○ 事例検討会 (1回以上、期日、会場は未定)

PCAGIPによる発達障害支援およびスーパービジョン・コンサルテーションの事例検討

- ・スーパービジョンやコンサルテーションの事例検討を主とし、受講者が事例検討会のファシリテーターを務め、スーパービジョンやコンサルテーションの演習とする。
- ・事例提供はブロック研修会参加者から求める。一般的な事例検討会とは異なり、事前準備はほとんど必要ないので、検討会当日の選出で可。
- ・支援内容についての事例検討の場合には、受講者自身が事例を提示し、ブロック研修会の参加者と事例検討会を行い、スーパービジョンを受ける。

※ 関東ブロック研修会で事例検討会の実施予定があります。2019年度以前のアドバンスコース修了者は参加可能です。(事例検討会はPCAGIPによるので、2018年度以前のSV研修アドバンスコース修了者には新規SV研修アドバンスコース集合研修からの再受講をお勧めします。)

(3) マスターコース

対 象

○ 要件

・SV研修アドバンスコース修了

※ 平成29年度SV研修資格認定コース受講者については、アドバンスコースの集合研修受講とレポート提出をもって修了と見なします。

○ 受講動機の適性

・積み重ねた発達障害支援の技能や知見を人材育成やマネジメント・コンサルテーションに活かしたい方
・地域における発達障害支援のリーダーとして貢献したい方

研修形式

・発達障害支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実績を積む

・下記のような場や機会での実践発表、研修講師受託など2つ以上の実績を積む

・修了については、全自者協理事が適否を考課します

※ 「何が実績になるのか」等、質問・相談は特定事務局で受け付けます

※ 実績や実践力は数量では測りがたいものですが、本来的には利用者やスーパーバイザーの好ましい変化(安定・成長・発達)をもたらせるか否かで測るべきものです。実質的には優れた実践家やスーパーバイザーの評価によるものとします。

内 容 (例)

・研究会や継続的な専門技能研修会等での実績

・国が主催する発達障害関連の研修(発達障害者地域支援推進事業における実地研修等)

・困難事例に対して先進的な取り組みを行っている医療・教育・労働等の機関での実地研修

・福祉・教育・医療等の専門機関で行われる発達障害支援に関する研修会等で講師を務める

・全日本自閉症支援者協会、日本自閉症スペクトラム学会、日本自閉症協会、発達障害者支援センター全国連絡協議会等の研究大会、発達障害関連の学会等で実践発表をする

※ 2020年度全自者協研究大会(滋賀)において、実践発表の場を設けます。

発表内容は、発達障害支援やスーパービジョン・コンサルテーションの実践についてです。

希望者は、実践発表申込書に発表概要を記入し、ご提出ください。締め切りは9月末日です。

研究大会参加費は自己負担とします。各自でお申込みください。

研究大会の要項等は全自者協HPに掲載されます。研究大会参加以外のお問い合わせは、必ずSV研修特定事務局にお願いします。

なお、新型コロナウイルスの影響で大会中止の可能性がります。予めご了承ください。

(4) 認定審査

対 象

・本研修マスターコース修了者

審査要件

・上記に示したマスターコースでの実績を満たしていること

審査形式

- ・認定審査委員会による書類審査(実績報告書) 口頭試問

認定形式

- ・全自者協スーパーバイザー養成研修運営委員会の承認を経て認定

【受講資格】

- 発達障害者支援センター及び自閉症関係施設の職員で3年以上の実務経験を有する方
- 発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方
- ※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます

【募集人員・募集時期等】

<ベーシックコース> **※要項と募集は、9月以降にお知らせします。**

50名/2年(先着順 今年度で定員に達した場合、2021年度は募集しません)

- ・実務研修を2021年度に受講することを原則とします
- ・集合研修、実務研修とも、レポート課題があります。

<アドバンスコース> **※今年度の新規募集はありません。**

30名/年(2021年度予定)

- ・ベーシックコース修了が必須です。
- ・関東ブロック研修会での事例検討会(アドバンスコース修了者対象)については、別途お知らせします
開催は、年度後半になります

<マスターコース>

定員はありません。随時受け付けています。

<認定審査>

定員はありません。(資格認定:年1回 時期は未定)

【受講費用】

<ベーシックコース>

集合研修(座学):**未定** (実務研修:20,000円/回)

※実務研修には、別途食費・宿泊代等の実費がかかります。

<アドバンスコース>

(集合研修:20,000円 事例検討会:5,000円/回)

<マスターコース>

無料 **※受講される研修等の費用は各自ご負担ください。**

<認定審査>

審査料がかかります。(未定)

【申し込み方法】

<ベーシックコース>

9月以降にお知らせします。

<マスターコース>

以下の書類を申し込み先に送付してください。(郵送・FAX・メール添付)

①受講申込書 ※ 確認のため、コピー・データを保管してください。

※ 2020年度全自者協研究大会での実践発表を希望される方は実践発表申込書をご提出ください。

締め切り:9月末日

【その他】

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

【問い合わせ・申し込み先】

全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修 特定事務局

石井 啓 北川 裕(担当)

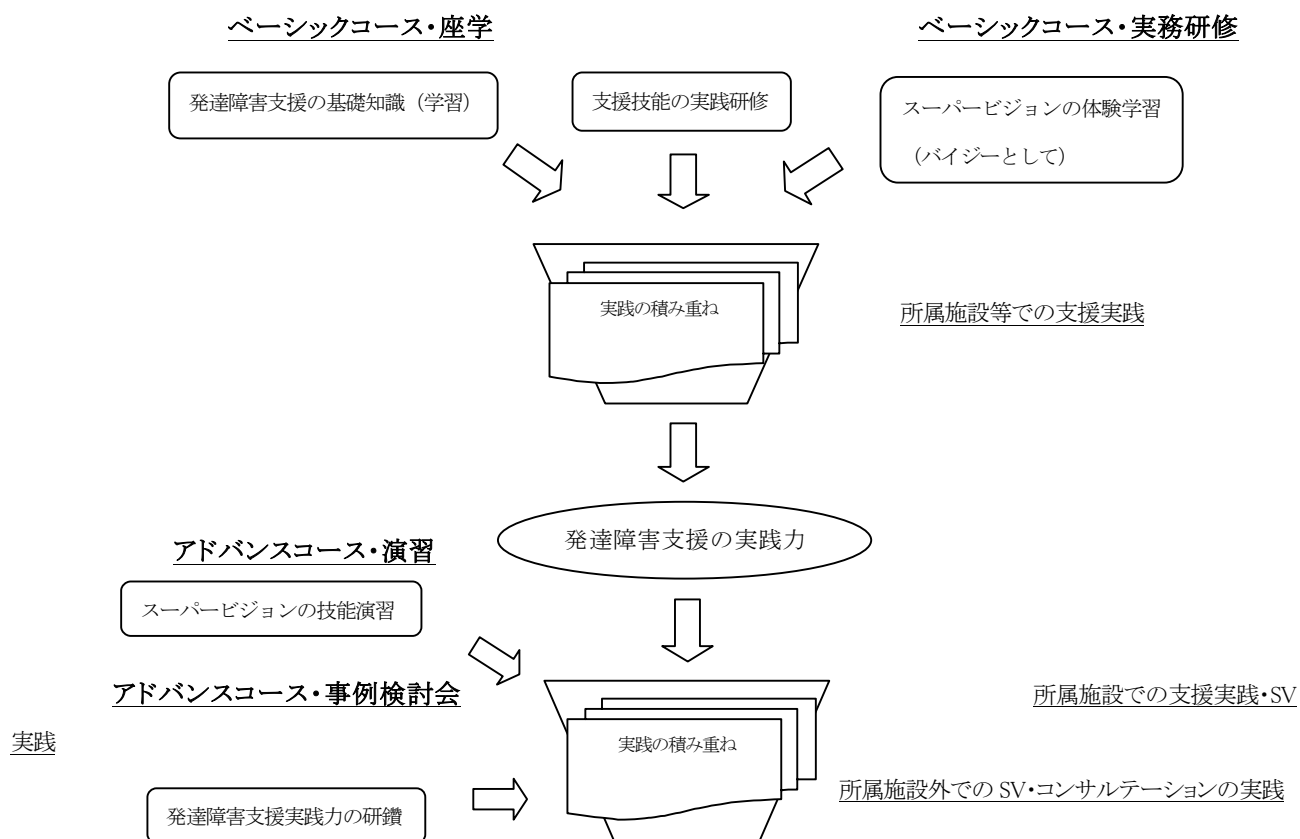
〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

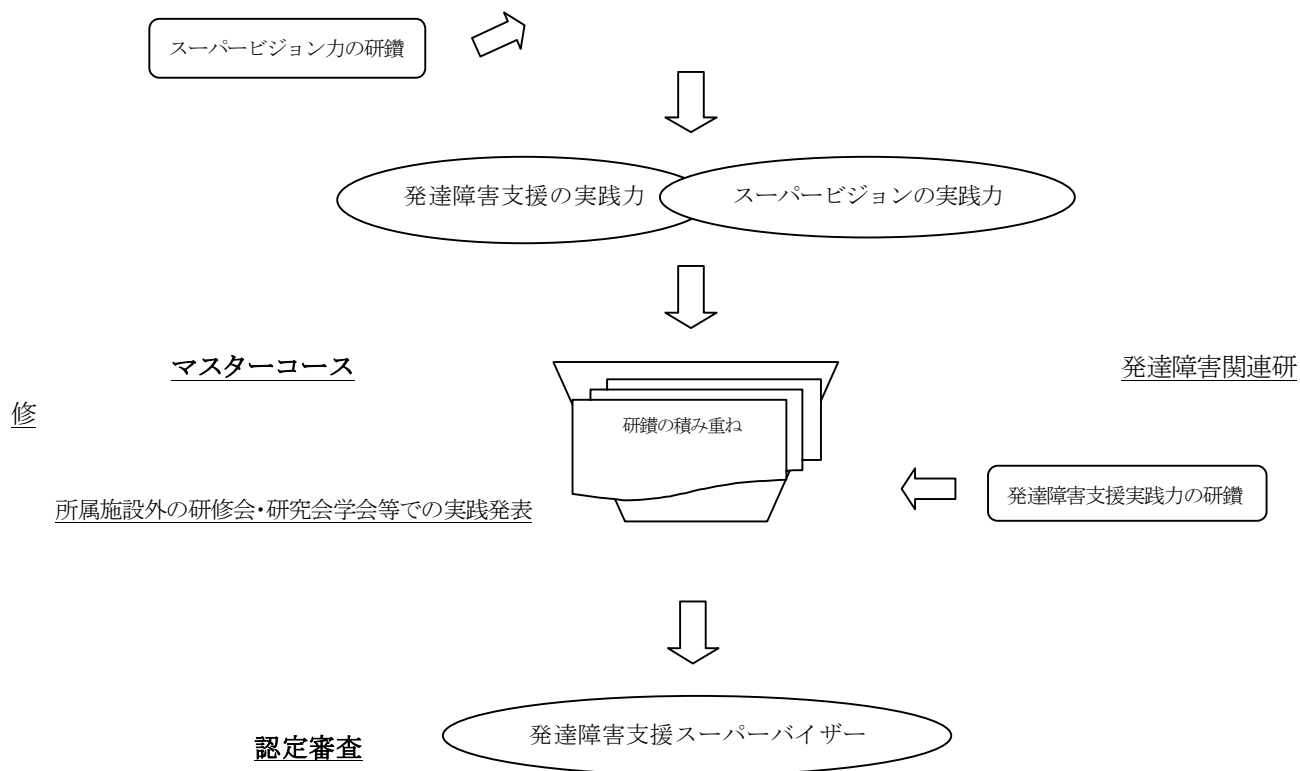
TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

発達障害支援スーパーバイザー養成研修

研修の流れと自己研鑽の関係 (イメージ図)





※ 本研修は、受講者が講義や演習、実務研修で学んだことを、それぞれ所属している支援の現場等に持ち帰り、実践し、研鑽していくことを前提にしています。

受講申込書（マスターコース）

ふりがな		受講番号	男	生 年 月 日
名 前			・	昭和 年 月 日生
			女	() 歳
所 属	法人・団体等： 施設・学校等： 部署・グループ等：			
職 種	生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他()			
資 格				
連 絡 先 *1	<input type="checkbox"/> 職 場		<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒		〒	
	TEL: FAX: E-mail:		TEL: FAX: E-mail:	

職歴・資格取得等	
受講理由 *2	<p>【発達障害支援の知識・技能の向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援におけるスーパービジョンやコンサルテーションの実践】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援あるいはスーパービジョン・コンサルテーションの実績評価】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>
備考	

*1: 主な連絡先を☑してください。連絡方法はできるだけメールでお願いします。

*2: 受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。

実践発表申込書(全自者協滋賀研究大会用 *1)

ふりがな		受講番号	発表内容(○をしてください)
名前			支援(個別・集団) スーパービジョン・コンサルテーション
発表内容 *2 1000字程度	発表概要(サマリー)		

備 考	

- *1:発達障害支援の経験が浅い支援者から優れた支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実践経験があるベテランまでが参加する発表会になります。
- *2:ご自分の支援やスーパービジョン・コンサルテーションの実践を理解してもらい、適否や質を問うための発表会であり、概要です。実践の内容と成果、考察を簡潔にまとめてください。